



スリランカ、インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピンとその周辺地域における壊滅的な洪水被害を受けた労働者とコミュニティへの連帯声明

国際公務労連（PSI）はスリランカ、インドネシア、タイ、その他のアジア地域において今週発生した洪水の壊滅的な被害を受けたすべての労働者、労働組合、地域社会に対し、深い連帯の意を表明する。人命が失われ、家屋が破壊され、重要なインフラが損壊した。気候変動によって発生した災害の最も深刻な被害を受けるのは、今回もやはり労働者であり、すでに不安定な環境に置かれている人々である。

こうした壊滅的な被害を受けながらも、最前線に立つ労働者たちはコミュニティを守り、支え続けている。緊急サービス労働者、保健・ケア労働者、地方自治体職員、公益事業の労働者、衛生労働者など多くの労働者が人命救助、医療の提供、エッセンシャルサービスの復旧、被災地の安定化のために命を懸けて活動している。こうした状況からも、適切な雇用条件、十分な安全衛生装備、適正な人員配置の中で活動する労働者に支えられた盤石な公共の緊急・災害対応システムにこそ、かけがえのない価値があることは明らかである。

これまで PSI 加盟組織は迅速に対応し、組合員への支援を提供してきた。私たちはこれらの加盟組織への敬意と連帯を表明する。フィリピンの加盟組織は災害対応の資金がエリート層による汚職で奪われ、現状を悪化させていることに抗議している。

一連の洪水は個別の事象ではない。地球規模の気候危機によって加速し続ける異常気象のパターンの一部である。アジア太平洋地域の労働者は気候変動と関連する災害の最前線に立たされることがますます増えている一方で、各国政府の資金的余裕は縮小し、費用の上昇に直面している。

PSI は各政府、国際金融機関、国際社会に対し以下の行動を求める。



1. 被害を受けた全ての労働者、家族、コミュニティに対し、反腐敗機関による監視下で透明性のあるプロセスを通じて人道支援への公平なアクセスを確保しつつ、迅速な支援と救済を提供すること。
2. 盤石な公的緊急サービスに資金を投入し、緊急サービス、保健・ケア、水道、衛生、エネルギー、地方自治体サービスにおいて、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）、安全な人員配置、十分な資金を確保すること。
3. 災害の対応・予防のための資金をその目的や約束に従って使用しなかった公務員や民間部門の関係者を起訴し、腐敗をつまびらかにするための内部告発法とプロセスを確立すること。
4. 気候危機に対し、以下の緊急の国際的行動を取る。
 - 被害を受けた国やコミュニティが迅速に受け取り可能で、ニーズに見合った十分な損失と被害に対応する資金提供を全面的に支援すること。
 - 過度な政府債務の返済と、公共サービスや気候変動適応策への資金調達を阻害する条件付き支援を終了させること。
 - 労働者、地域社会、公共サービスを保護する公正かつ公平な、労働組合との協議によるプロセスを通じて、化石燃料からの迅速な移行を進めること。

断固たる行動を取らなければ、異常気象はさらに激化する。予防できるはずの災害に直面し、地域社会を守るか、自らの命を危険にさらすかの選択を労働者が迫られるようなことがあってはならない。

PSIは今回の洪水被害を受けた全ての労働組合と労働者に連帯する。私たちは気候正義、盤石で民主的な公共サービス、そして利益より人と地球を優先する、より公正な国際システムを求め引き続き闘うことを誓う。